

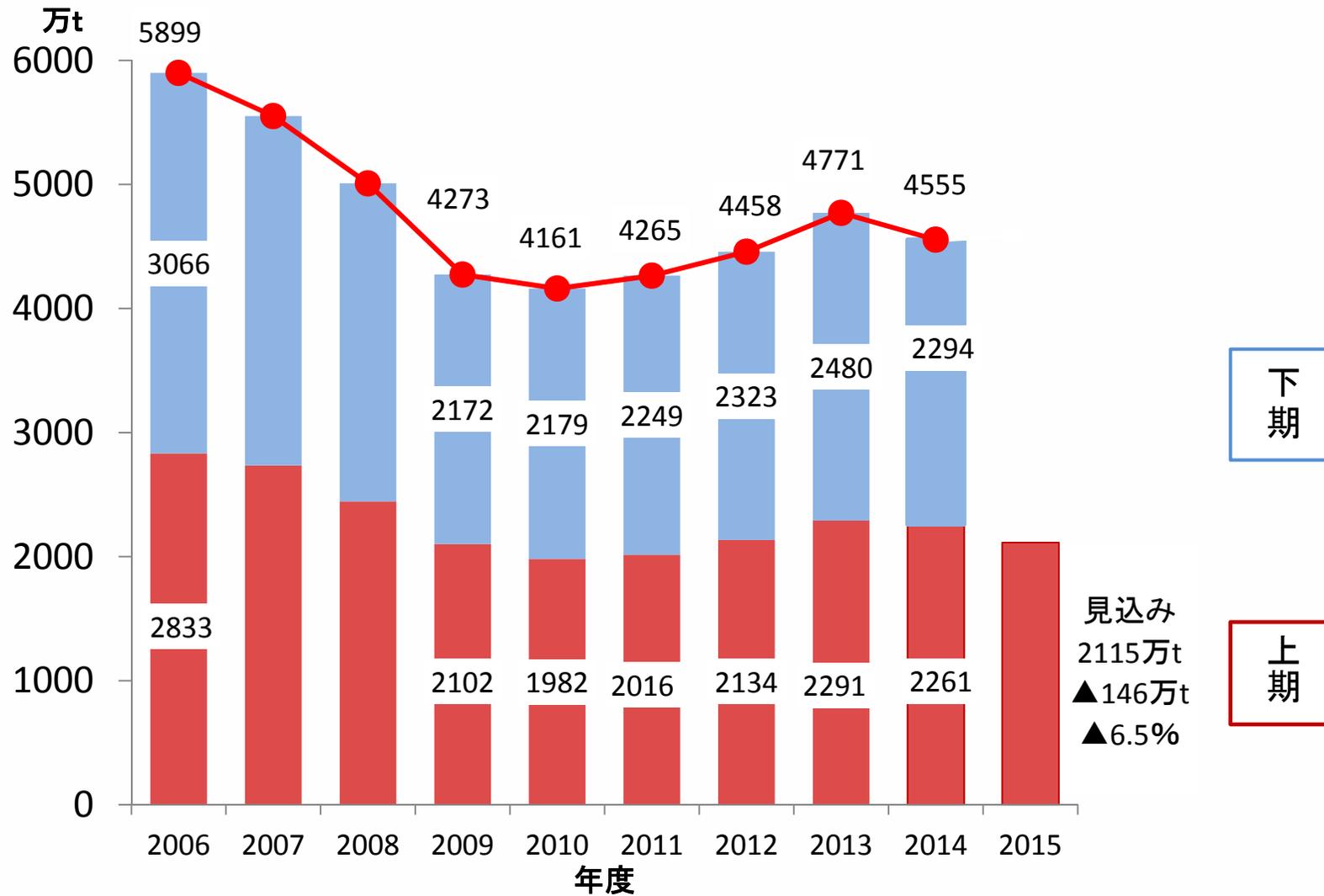
最近の需給動向について

2015年10月22日 重工業研究会

1. 国内需要の推移
2. 2015年度上期地区別販売
3. 2015年度上期減少の背景
4. 中期的なセメント需要

流通委員会 委員長 藤末 亮

1. 国内需要の推移



2. 2015年度上期地区別販売

地区	実績(万t)	構成比 (%)	伸び率 (%)	主な背景
北海道	104	5.0	▲10.5	北海道新幹線関連工事ほぼ終了
東北	238	11.4	3.7	復興工事堅調
関東一区	483	23.0	▲6.0	東京都心部を除いて民間工事不振
関東二区	181	8.6	▲7.4	圏央道などほぼ終了
北陸	102	4.9	0.9	新幹線延伸関連工事堅調
東海	237	11.3	▲4.3	民間工事不振
近畿	287	13.7	▲9.1	民間工事不振
四国	74	3.5	▲10.5	公共工事不振
中国	123	5.9	▲7.6	公共工事不振
九州	221	10.5	▲13.0	災害復旧工事終了
沖縄	48	2.3	6.3	各所で公共・民間工事堅調
計	2,098	100.0	▲6.1	
内需(含輸入)見込	2,115		▲6.5	

3. 2015年度上期減少の背景

セメント官需 (伸び率見込み▲6.3%)

- 2015年度国の公共事業予算が補正予算の金額規模の減少から実質マイナス
- 公共工事請負額もマイナス
- セメント原単位の低下が生じている
 - ① 公共工事請負額には労務単価や建設資材価格の上昇分が織り込まれている

セメント民需 (伸び率見込み▲6.7%)

- 民間住宅投資に回復はみられるが、民間設備投資には力強さがない
- セメント原単位の低下が生じている
 - ① 都心部の大型再開発物件は堅調だが、一括受注により施工費に解体費が含まれている
 - ② 「工場」建築は増加しているが鉄骨造が主体
 - ③ 「学校・病院」はRC造から鉄骨造への構造シフトがみられる
 - ④ 建築工事費の上昇分が織り込まれている

4. 中期的なセメント需要

プラス要因

- 復興需要はしばらく続く
- 成長戦略による民間投資が活発化
- 2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え首都圏で建設投資が集中

マイナス要因

- 本格的な景気回復後に財政再建の必要から、公共事業費が削減される懸念